

続・旅、

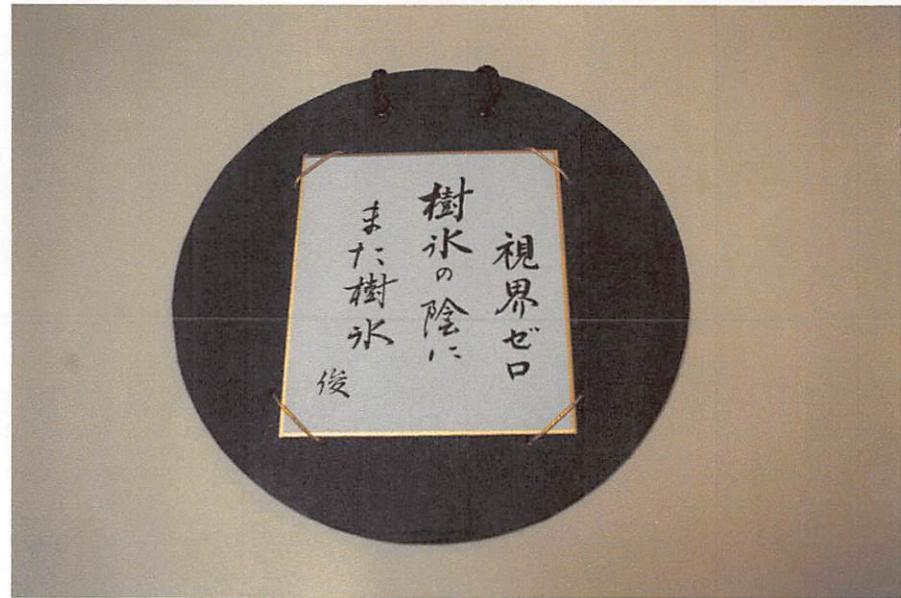
あちらこちら

句と文：千葉 俊雄

書：松島 澄氏

GENKI展：2022. 3. 15～3. 20

於：練馬区立練馬美術館

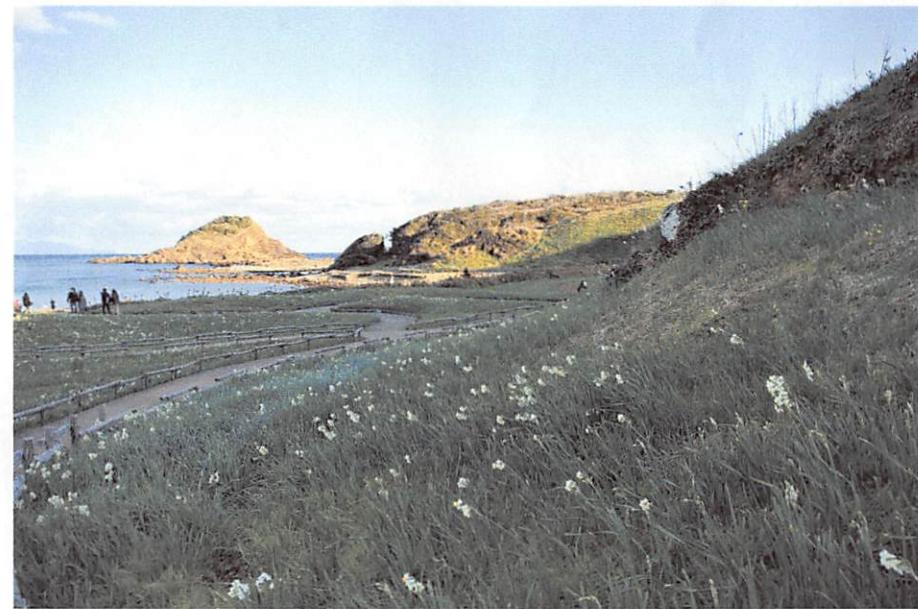


(山形、蔵王)

蔵王山頂で撮影した時、気温は－17°C。シャッターを切る為に手袋を脱いだ途端、指先が凍傷のようになる。

慌てて、盲滅法にシャッターを切り、急いで休憩室へ。

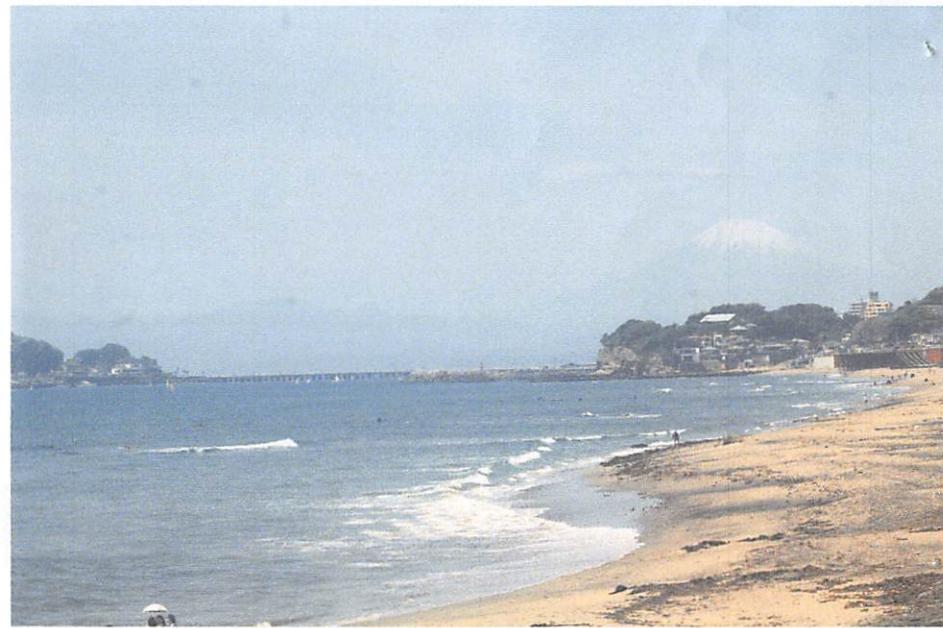
熱い缶コーヒーで指先を温め、ストーブで全身を温めて、何とか難を免れた。



(伊豆急下田、爪木崎)

伊豆急下田の爪木崎は、正月～2月にかけて、野生の水仙（野水仙）が群落する。

風に揺れる白い水仙と、黒い岩のコントラストが美しい。



(鎌倉、七里ヶ浜)

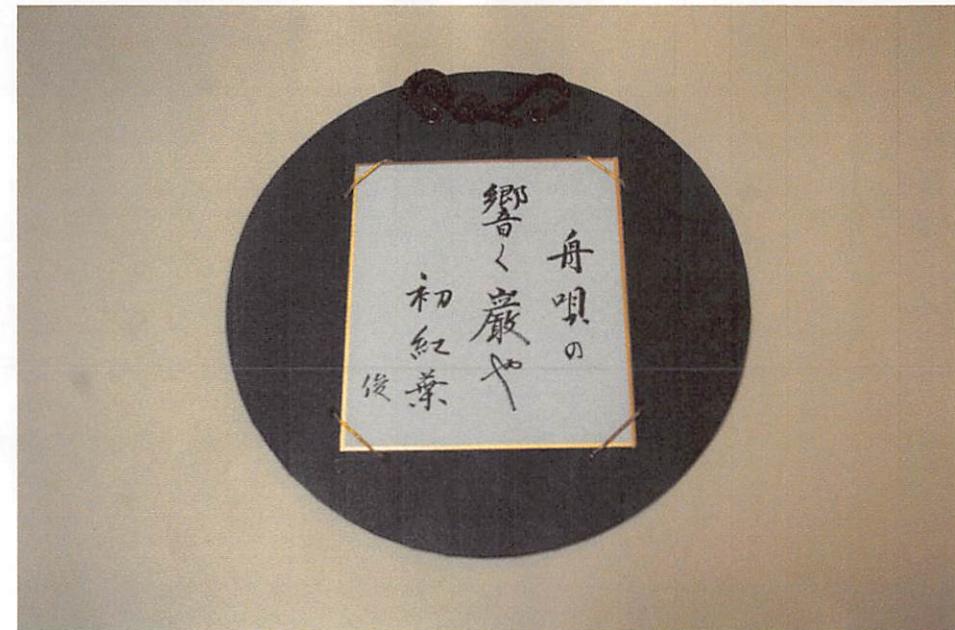
明治43年1月、逗子開成中学の生徒12名が、ここ七ヶ浜より密かにボートを漕ぎ出し、強風で転覆。全員が死亡した。

中でも、兄の勝治が弟の武三をしつかりと抱えている姿が痛々しかった。

時節は、日露戦争後5年。軍事大国の成長期で、海辺の中学校の軍事訓練に、ボート漕ぎが必修だった。

事件後、同校の大法要で歌われた追悼歌、「真白き富士の嶺」は、全国に広まった。

私が七里ヶ浜へ行ったのは、4月下旬。海面に卯波が立ち、当時を物語っていた。



(岩手県、猊鼻渓)

「～田舎なれども 南部の国は～」

(南部牛追い歌) 50mもある石灰岩

の岩肌に、船頭の舟唄が響く。

ここは、北上山地南端の**猊鼻渓**。
げい び けい

海岸から直線距離でおよそ60

kmあるが、岩肌の石灰岩には

約5億年前珊瑚の化石が含まれて

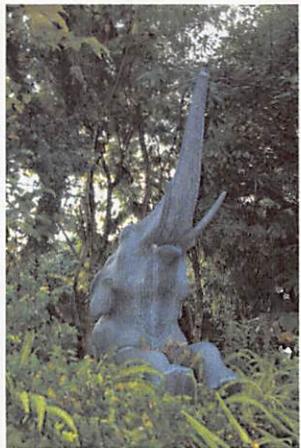
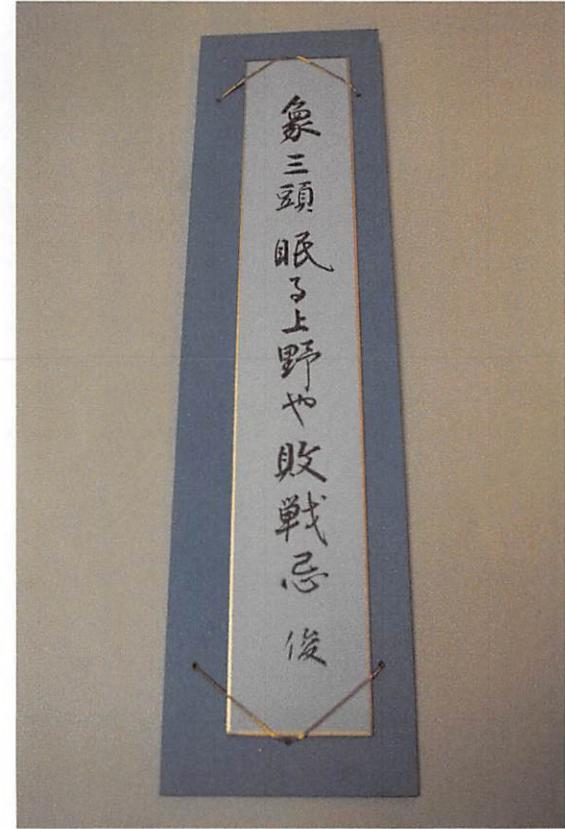
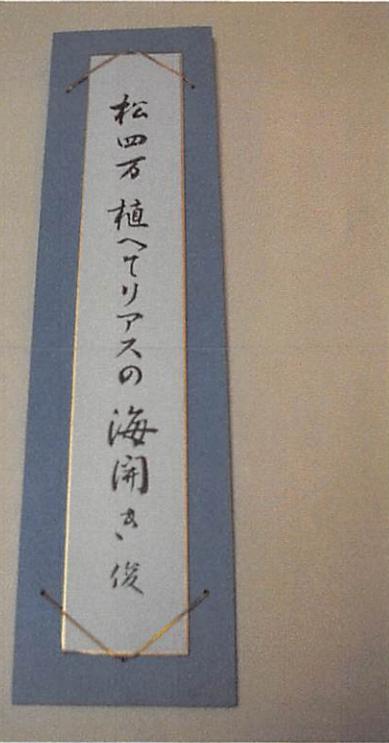
いる。沖縄付近のプレートが、マン

トル対流で、ここに移動したものだ。

地殻変動の驚異を感じる。

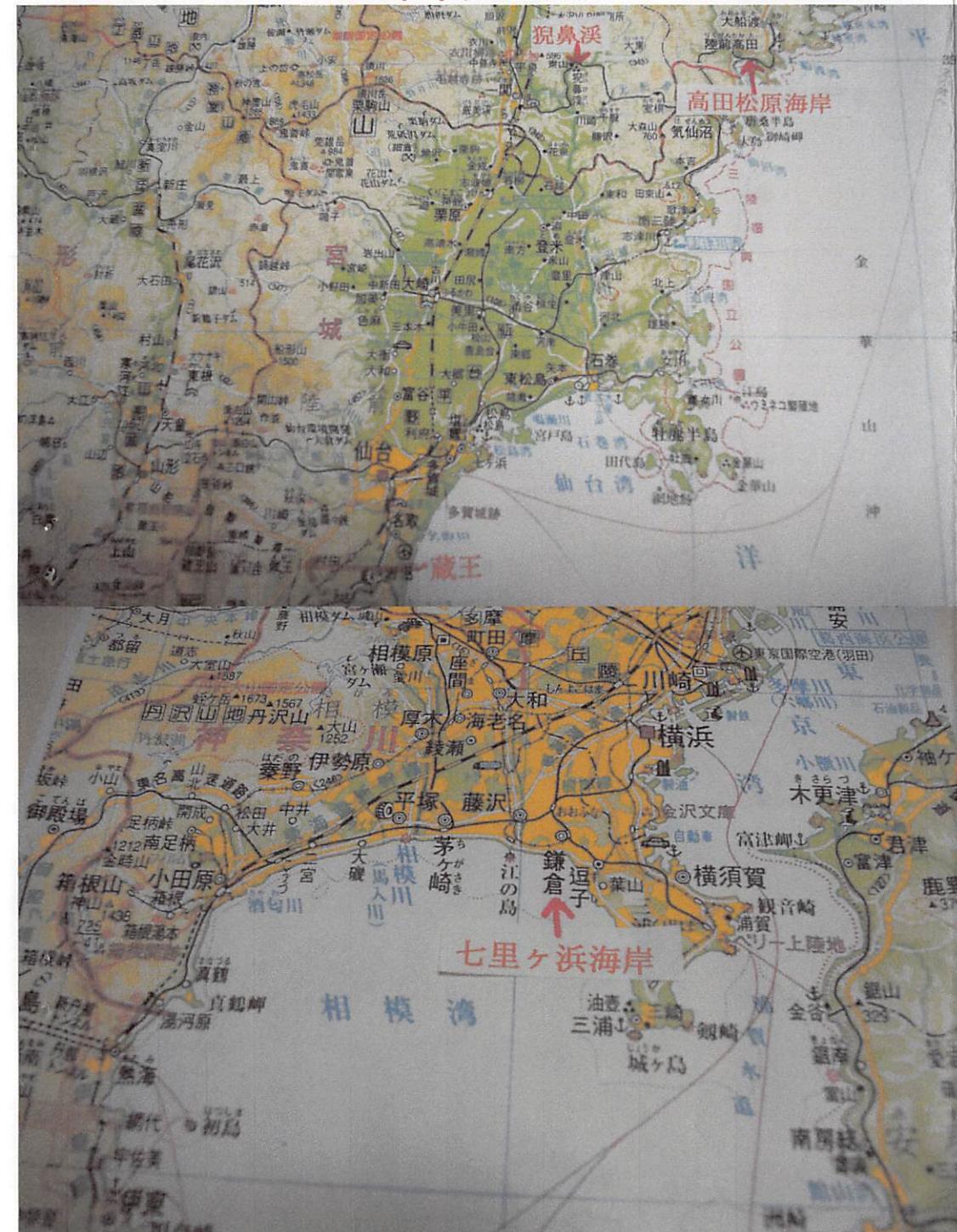


撮影：千葉 一栄氏。
(英字読売、報道写真賞受賞)



2020年9月6日付け朝日新聞
「朝日俳壇」入選。

<旅行地図>



地 ユツ南私 つたの状 そ故を *一
で足してはの以た °窓の海ここ走授足理
詠でスイ日趣來の教か地岸でのる業で科
む観る本味、だ科ら形段早写京の観ニ
とるに °最は私 °書外だ丘速真浜準るユ
の☆、としそ南旅は「のを。と、が急備
臨、てし端行な現写見何は三海行で
場確、てのでる場真た度、浦岸」教
感か生、波、べはらか海半段の科
がな徒旅照北く、行底島丘写書
舍る
☆出知に先間は現海段つの^な真を
て識伝で、北地成岸々た隆行のが見
くにえ得は海に果段状時起つかあた
るなたて道行丘の、で、つら
す車し私る事る大くつを地電でみわた、
るの☆。をま雪事た正形車きたか。
記 佛 一山に。面がのるらだ海
俊俊俊憶句理島かしカわ運、なが岸
のも科迄らたらか転段い段
箱 現ニ巡、。撮つ室々 °何丘

る会イが四で食周一タき重そがま早が部
大放の努ン鈍則、そをどで時寝イ翌たねれ編残ずい仕で一門こ転放
切送優力タい計頭こ抜うダ間坊ト年もるが集飯撮。入き回にこ勤送
さコ勝のビ事算のでいしウ目しル、のと禍にを影早れる目挑に三コ
にンに甲ユを等働検たてンのては雪の画。編出。朝やまに戦は校ン
気テ輝斐、結でき証のそ。体、辱、質当集す調、仕で挑す、目テ
ス づいあ、の論調が。がう
裏 いトたりダづべど朝原な
話 てを。、メけ、う食因つ
一 く通、「今押る朝違を、た
れし度し。食う摂との
れしては。そをかつ氣か
ば、めし抜、たづを
、生良でてく針時く回
と徒かた、とのと想
思がく栄、糸、す
う人た、養頭通抜る
に!全学のしいと
伝國校働やた、
え。大にき、時朝半、
る会イが四で食周一タき重そがま早が部
大放の努ン鈍則、そをどで時寝イ翌たねれ編残ずい仕で一門こ転放
切送優力タい計頭こ抜うダ間坊ト年もるが集飯撮。入き回にこ勤送
さコ勝のビ事算のでいしウ目しル、のと禍にを影早れる目挑に三コ
にンに甲ユを等働検たてンのては雪の画。編出。朝やまに戦は校ン
気テ輝斐、結でき証のそ。体、辱、質当集す調、仕で挑す、目テ
育朝の予が時を迄理給込。戦るメのス
食挑選劣は重を、みし事力時ト
の食主がにのへ
授をベ戦落化、ねカ校事がたがにのへ
と。ちすぐてメ長さあ時強話3
業抜きやだる正、ラのんのときい。
でいやはつ。だ作が検達タ。教全
持登りた全つ品追食がでイ員國
良、久校か食国たをい。出
走しつを大の仕か給勤給ルは
をたたテ会で上け食す食はて葉
し生。にげる後る室、優俊
て徒。マ出編た姿の映勝雄
にき時朝半、でを、徒、は食の